

	課題分析	授業改善策
国語	・興味がわからない内容に対しては主体的に学習に取り組もうとする姿勢が見られないことがある。 - また、学習に対する姿勢や学力に大きな個人差があり、個別最適な学びや協働的な学びを常に展開する必要がある、一斉指導が難しい場面も暫しみられる。	・ICT 機器の使用には大きな興味関心を見せるため、どの単位においても、ICT 機器を使用し誰もが積極的に取り組める仕掛けを用意する。 ・集団で話し合い様々な見方考え方に触れたうえで自分の考えをしっかりと持てるように実践的な国語を提示し、国語が苦手な生徒を含め学習意欲を引き出す。
社会	・授業ごとの学習課題に対して積極的に取り組める生徒が多いが、まとまった範囲の知識の定着に課題がある。 ・基礎的な知識・技能を活用し、思考・判断・表現することを苦手とする生徒が一定数いる。	・単元ごとの基礎知識の理解を確認する場면을計画的に設定し、系統的な知識の定着を図る。 ・発言や意見をまとめる際に、知識や技能を活用する場面を設定し、根拠を示すように個に応じた指導を適宜行う。
数学	・自分に自信がなく、意欲的に取り組むことができない生徒がいる。 ・苦手意識をもち、問題を前にして解くことを諦めている生徒がいる。	・プリントで既習事項を確認し、繰り返し学習することにより、基本的な学習内容の定着を目指す。 ・少人数の授業に集中することで、「分かる」という実感を味わえるようにコースごとに進度や内容を工夫して指導を行う。
理科	・全国学力調査の分布グラフから、中位層が多いので、上位層を増やす取組が必要である。 ・1, 2年の学習内容を忘れている生徒がいる。 ・発問に対して発言する生徒が多く、意見交換が活発にできる。	・教室のICT機器やタブレットを活用し、生徒の興味関心を引き出して、学習意欲を高める。 ・小テストを単元ごとに行い、学習習慣や基礎学力の定着を図る。 ・3年の学習に関連する1, 2年の内容を、適宜発問して復習させる。 ・話し合いに消極的な生徒も一定数いるので、指名して発言機会を増やす。
音楽	・どの単位も意欲的に取り組み、楽しみながら授業を受けようとする雰囲気があり、質問や発言も多い。 ・高い技術を習得しようとする意欲が高く、様々な表現方法に関心をもち、課題に粘り強く取り組む生徒が多い一方、主体的に取り組めない生徒がいる。	・曲の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを深く理解し、曲にふさわしい歌唱表現をより高いものにできるよう個と集団の学習を繰り返し、様々な感じ方や表現の内容を共有できるようにしていく。 ・自ら目標をもち、それに向かって粘り強く取り組めるよう、助言をするとともに振り返りシートを使用して計画的に取り組む。
美術	・想像の世界や空想の世界を表現するときにアイデアがなかなか出ず、時間を要する生徒が見られる。 ・絵画では苦手意識のある生徒がおり、特に光と影を捉えて立体感や空間を表現することが難しい。	・多様な作品群に触れさせ、作者の意図や工夫に気づかせることで生徒自身の表現の幅を広げさせる。 ・基礎的な技能のふり返しを行い、それを作品にどう取り入れるか参考作品を掲示し、机間指導で個別に対応する。

保健体育	・全身持久力やスピード、筋力等、全体的に体力面での課題がある。 ・新たな動きのある運動がスムーズに行えない。新しい動きに対して抵抗感をもってしまうことが多い。	・体力面においての課題は授業の始めには毎回体力向上の内容を組み入れ年間を通じて向上を図る。 ・新たな動きを身につけやすいようにコーディネーショントレーニングを取り入れ、脳神経と運動神経の伝達をスムーズにさせ、新しい運動の習得につなげられるようにする。
技術・家庭	・実習や実験に前向きに取り組んでいる。 ・技術面に差があり、製作に苦手意識をもつ生徒がいるので、個に応じた対策が必要である。	・グループ学習により、生徒相互の学び合い活動を取り入れる。また過去の生徒作品を提示することで、製作のヒントを与え、製作にむけて意欲を引き出す。
外国語(英語)	・意欲的に授業に取り組める生徒が多いが、1, 2 年生の基礎でつまずき、3 年での学習内容がより難しく感じられる生徒が一定数いる。 ・領域診断テストにおいて、3 文作文が空欄である生徒が多くいたため、自分の意見を整理し、まとめる力を育むことが必要である。	・1, 2 年生の内容でのつまずきを改善するために、復習小テストを設定する。kahoot 等 ICT 端末を用いるなど工夫したい。 ・自分の意見を整理する練習、文章を書く練習を授業の中で増やす。